

会派名 志翔会 支出調書

| | | |
|---|---|---|
| 代表者 | 経理責任者 | 起案者 |
|  |  |  |

| 区分 | 事由 | 費目金額 | | | | 小計 | |
|-----|---|----------------------|--------------|---------------|---------|-------------|-----------|
| 1 | 調査研究費 | 行政調査旅費 (山梨市役所・町田市役所) | 交通費 | 旅費 | 165,180 | 自動車燃料費 | 165,180 |
| | | | 資料作成費 | 調査委託費 | | 振込料 | |
| 2 | 研修費 | | 会場費 | 講師謝金 | | 出席者負担金・会費 | |
| | | | 交通費 | 旅費 | | 自動車燃料費 | |
| | | | 資料作成費 | 食糧費 | | 振込料 | |
| 3 | 広報費 | | 会場費 | 交通費 | | 自動車燃料費 | |
| | | | 資料作成費 | 広報誌 (紙) | | 報告書等印刷費 | |
| | | | 送料 (折込料含む) | ウェブページ掲載代 | | 茶菓子代 | |
| | | | 振込料 | | | | |
| 4 | 広聴費 | | 会場費 | 交通費 | | 自動車燃料費 | |
| | | | 資料作成費 | 茶菓子代 | | 振込料 | |
| 5 | 要請・陳情活動費 | | 交通費 | 旅費 | | 自動車燃料費 | |
| | | | 資料作成費 | 振込料 | | | |
| 6 | 会議費 | | 会場費 | 交通費 | | 自動車燃料費 | |
| | | | 資料作成費 | 振込料 | | | |
| 7 | 資料作成費 | | 印刷製本費 | 翻訳料 | | 筆耕料 | |
| | | | 振込料 | | | | |
| 8 | 資料購入費 | | 法規追録代 | 参考図書代 | | 新聞雑誌等購読料 | |
| | | | 有料データベース等利用料 | 振込料 | | | |
| 9 | 人件費 | | 賃金 | 社会保険料等 | | 振込料 | |
| 10 | 事務所費 | | 備品購入費 | 事務機器等リース代 | | 消耗品等事務費 | |
| | | | 印刷代 | 振込料 | | 配送手数料 | |
| 11 | 通信運搬・自動車燃料費 | | 電話料等 (按分) | 郵便料等 | | 自動車燃料費 (按分) | |
| | | | その他 | | | | |
| 使用者 | 佐藤 栄作  | 支出年月日 | 平成29年 9月 27日 | 現金出納簿 支出番号 | 25 | 合計 | 165,180 円 |

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 25

会 派 会 長 様

申請代表者氏名 佐藤栄作



下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

| | | |
|------------|---|---|
| 請求金額 | 165,180円（1人あたり 55,060円） | |
| | ※別紙、旅費計算書のとおり | |
| 目的 | 行政調査 | |
| 用務先 | ① 山梨市役所 ② 町田市役所 | |
| 内容 | ① 農業へのIoT技術の導入について ② 20年間期間限定認可保育所事業について | |
| 期間 | 平成29年10月2日 ～ 平成29年10月3日（1泊2日） | |
| 行程 | 別紙のとおり | |
| 出張(調査等)者氏名 | ・ 諸越 裕 | ・ |
| | ・ 佐藤 徹哉 | ・ |
| | ・ 佐藤 栄作 | ・ |
| | ・ | ・ |
| | ・ | ・ |
| 特記事項 | | |

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

| | | | | |
|------|-------|--|-----|-------------|
| 会派会長 | 経理責任者 | | 受理日 | 平成29年 9月27日 |
| | | | 許可日 | 平成29年 9月27日 |
| | | | 支出日 | 平成29年 9月27日 |

上記金額を受領しました。

平成 29 年 9 月 27 日

申請代表者氏名 佐藤栄作

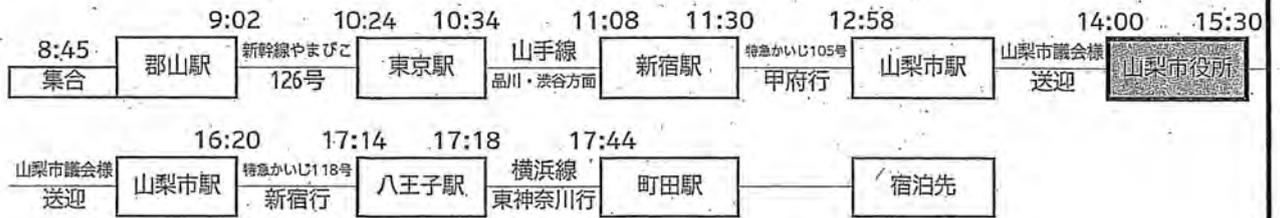


平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

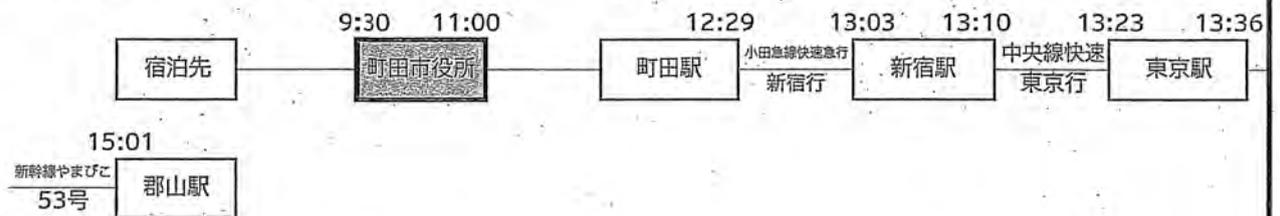
□ 1日目：平成29年10月2日（月）

山梨市：農業へのIoT技術の導入について～アグリイノベーションLab構想～



□ 2日目：平成29年10月3日（火）

町田市：20年間期間限定認可保育所事業について



2 調査者

3名

諸越 裕 議員
佐藤 徹哉 議員
佐藤 栄作 議員

3 調査項目

- (1) 平成29年10月2日（月） 14:00～15:30
山梨市役所
・農業へのIoT技術の導入について
～アグリイノベーションLab構想～
- (2) 平成29年10月3日（火） 9:30～11:00
町田市役所
・20年間期間限定認可保育所事業について

4 連絡先

- 山梨市議会事務局（担当：タケウチ様）
〒405-8501 山梨県山梨市小原西843
TEL 0553-22-1111（代表）
- 町田市議会事務局（担当：ミサワ様）
〒194-8520 東京都町田市森野2丁目2番22号
TEL 042-724-4049

5 その他

行政調査旅費計算書

会 派 名 : 志翔会

参加議員 : 諸越裕、佐藤徹哉、佐藤栄作

日 程 : 平成29年10月2日(月) - 3日(火)

行 先 : 山梨市役所(山梨県山梨市小原西843)
町田市役所(東京都町田市森野2丁目2番22号)

| | | | | | | | | | |
|-------|--------------|-------|---------------------|---------------------|-----------|---|--|--|-------|
| 10月2日 | 郡 | 東 | 新 | 山 | 八 | 町 | | | |
| | 山 | 京 | 宿 | 梨 | 王 | 田 | | | |
| | やまびこ 126号 | JR山手線 | JR 特急かい じ105号 | JR 特急かい じ118号 | JR横浜 線 | | | | |
| | 226.7 | 17.4 | 111.9 | 74.8 | 19.7 | | | | |
| | 駅 | 駅 | 駅 | 駅 | 駅 | 駅 | | | |
| 運 賃 | | 5,620 | | 1,660 | | | | | 7,280 |
| 急行料金 | 3,680 | | | 1,450 | | | | | 5,130 |
| グリーン | 3,090 | | 3,400 | | | | | | 6,490 |
| 実 費 | | | | | | | | | 0 |

| | | | | | | | | | |
|-------|--------------|--------------|--------------|---|--|--|--|--|-------|
| 10月3日 | 町 | 新 | 東 | 郡 | | | | | |
| | 田 | 宿 | 京 | 山 | | | | | |
| | 小田急線 快速急行 | JR中央 線 快速 | やまび こ 53号 | | | | | | |
| | 30.8 | 10.3 | 226.7 | | | | | | |
| | 駅 | 駅 | 駅 | 駅 | | | | | |
| 運 賃 | 370 | 4,000 | | | | | | | 4,000 |
| 急行料金 | | | 3,680 | | | | | | 3,680 |
| グリーン | | | 3,090 | | | | | | 7,680 |
| 実 費 | | | | | | | | | 0 |

| | | | | | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | |
| 運 賃 | | | | | | | | | 0 |
| 急行料金 | | | | | | | | | 0 |
| グリーン | | | | | | | | | 0 |
| 実 費 | | | | | | | | | 0 |

交通費 34,260 34,260
 日 当 3,000 × 2日 = 6,000
 宿泊費 14,800 × 1泊 = 14,800
 合 計 55,060 円 × 3名 = 165,180 円

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 25

会 派 会 長 様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

| | | | |
|---------|---|---|---|
| ・ 諸越 裕 |  | ・ | 印 |
| ・ 佐藤 徹哉 |  | ・ | 印 |
| ・ 佐藤 栄作 |  | ・ | 印 |
| ・ | 印 | ・ | 印 |
| ・ | 印 | ・ | 印 |
| ・ | 印 | ・ | 印 |

記

| | | | | | | |
|---------|-----------------------------------|-----------|-----|-----------|-----|-----|
| 期 間 | 平成29年 10月 2日 ～平成29年 10月 3日（1泊 2日） | | | | | |
| 目 的 | 行政調査 | | | | | |
| | | | | | | |
| 用 務 先 | ① 山梨市 | | | | | |
| | ② 町田市 | | | | | |
| 行 程 | 別紙行程表のとおり | | | | | |
| 内容及び成果 | 別紙のとおり | | | | | |
| | | | | | | |
| 旅 費 精 算 | 受領額 | 165,180 円 | 精算額 | 165,180 円 | 返納額 | 0 円 |

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

| | | | | |
|---|---|--|-------|-------------|
| 会 派 会 長 | 経 理 責 任 者 | | 受 理 日 | 平成29年10月 9日 |
|  |  | | 確 認 日 | 平成29年10月 9日 |
| | | | 精 算 日 | 平成29年10月 9日 |

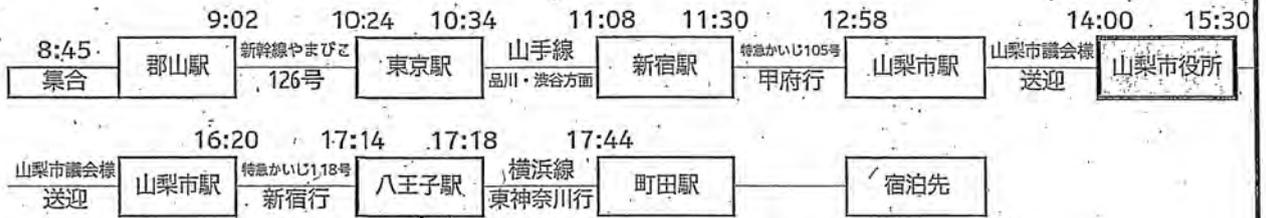
※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

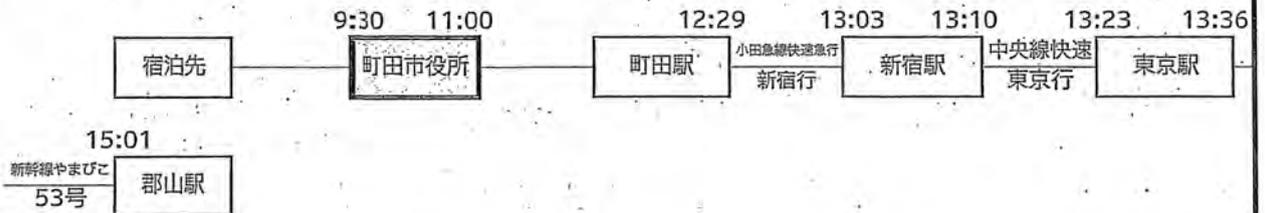
□ 1日目：平成29年10月2日（月）

山梨市：農業へのIoT技術の導入について～アグリイノベーションLab構想～



□ 2日目：平成29年10月3日（火）

町田市：20年間期間限定認可保育所事業について



2 調査者

3名

諸越 裕 議員
佐藤 徹哉 議員
佐藤 栄作 議員

3 調査項目

- (1) 平成29年10月2日（月） 14:00～15:30
山梨市役所
・農業へのIoT技術の導入について
～アグリイノベーションLab構想～
- (2) 平成29年10月3日（火） 9:30～11:00
町田市役所
・20年間期間限定認可保育所事業について

4 連絡先

- 山梨市議会事務局（担当：タケウチ様）
〒405-8501 山梨県山梨市小原西843
TEL 0553-22-1111（代表）
- 町田市議会事務局（担当：ミサワ様）
〒194-8520 東京都町田市森野2丁目2番22号
TEL 042-724-4049

5 その他

山梨市

農業への IoT 技術の導入について

～アグリイノベーション Lab 構想～

まず、国における IoT 分野の動向等として、IoT、ビッグデータ、AI 等は、地域の住民・行政・企業のデータ利活用による住民サービスの充実、地域における新たなビジネス・雇用の創出等のメリットを実現し地域の課題解決を図るための効率的・効果的なツールとして強く期待されている。そこで、山梨市の施策における農業及び IoT の位置づけでは、

○計画における位置付け

・「第2次山梨市まちづくり総合計画」

1 四季折々の色あいを大切に、にぎわいのある山梨市

(1) 稼ぐ農業へ挑戦するまち

(2) 都市と自然の交流のまち

4 機能性が高く、落ち着いた住環境の山梨市

(1) 自然と農のある暮らしを提供できるまち

・「総合戦略」における位置づけ

戦略1 山梨市における安定した雇用を創出する

施策1 農業関係のしごとを増やす。

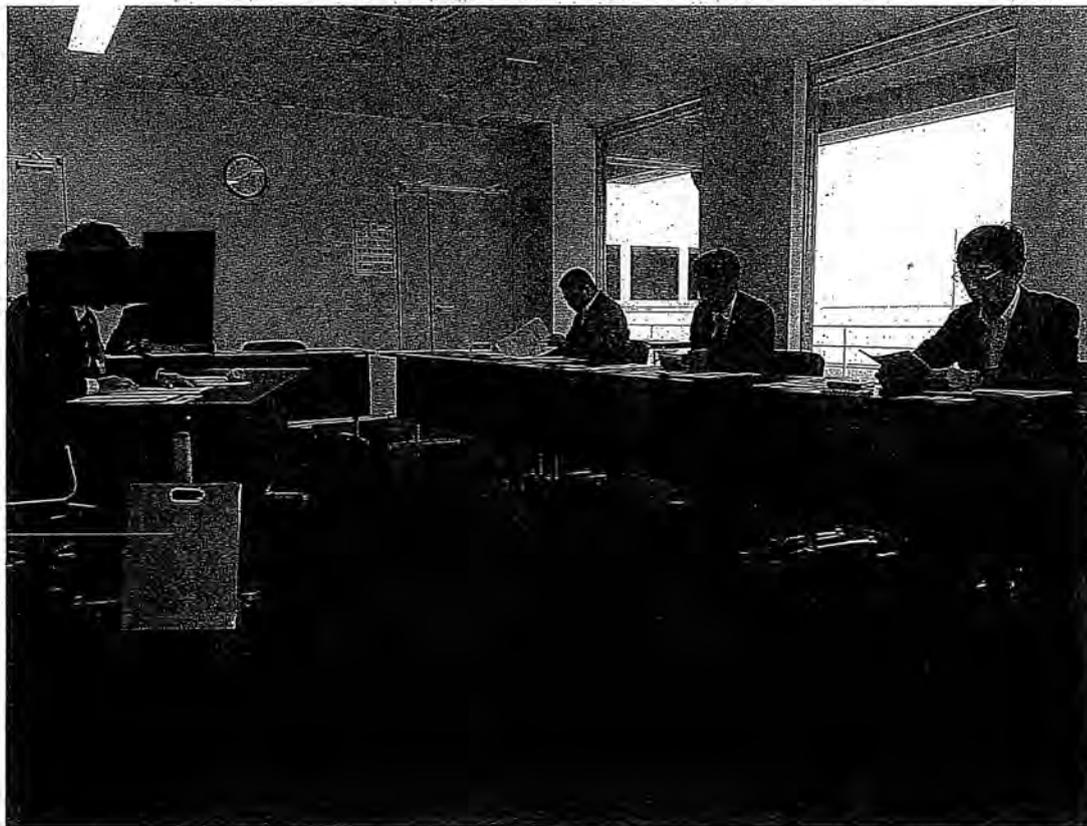
としているが、・就農者の高齢化により持続的な営農が困難。・農家の経験に基づく栽培となっており、就農支援などの方法が限定的。・後継者や新規就農者への栽培技術の継承が困難。・収入の確保が困難。等課題点も多い。

そのような中、豊かな自然、国内有数の果樹産地である地域特性や、都心部からも比較的近いという地の利を活かし、農業分野におけるリーディングシティとして先進的な IoT 等の成長分野に積極的に取り組み、持続可能な社会「儲かる農業」の実現に向けた基盤を形成する目的のもと、アグリイノベーション Lab 構想を打ち出した。経緯として平成28年度中に関係企業から提案のあった「IoT トライアル（検証実験）」の市内実施に係る協力体制を構築し、平成29年2月24日にアグリイノベーション Lab 記者発表を行った。アグリイノベーション Lab の詳細内容は、・IoT を活用し、熟練農家の栽培方法について、データによる見える化を行うことにより新規就農者支援を行う。

(例として、熟練農家の管理する日時、温湿度管理、CO2 濃度、土壌水分量等に係るデータを集積し、そのデータを新規就農者へ提供する。)・Wi-Fi 環境を構築することが困難な場所（電源を設けることが困難な山間等）において、Wi-Fi に頼らず低コストかつ省電力のセンサー機器の導入を検討し栽培管理を行うことで、NTT 東日本、シナプテ

ック（ベンチャー企業）、JA、協力農家（トライアル農家）等関係団体が参画しており、JAの紹介による13件の農家の協力により、平成29年4月からトライアル環境の構築及び運用を開始したところである。*トライアル環境＝各農家の圃場に、Wi-Fi、センサー（温度、湿度、CO2、日射量、土壌水分度等）、ネットワークカメラを設置する環境のこと。

実際に、13件のトライアル農家でモモ、ブドウ（シャインマスカット、巨峰、ピオーネ、デラウェア）を栽培する圃場（露地及びハウス）に、センサー機器、デバイス機器を設置し、農家は、各センサーが収集し、集計された情報をスマホにより確認することが可能となり、トライアル農家からの意見をもとに、収集したデータのグラフ化、確認できるデータの種類等を随時改良する。また、センサーからのアラートにより、ハウスの開閉誤作動を確認し、被害を事前に防ぐことができた事例も今回あったとの話であった。今後は、コンソーシアム参画企業やエリア、サポートなどを拡大し、ブランド構築や6次産業を育成し、将来的には、稼げる農業の確立や新規ビジネスの創出で定住人口・交流人口の増加、農業収入の拡大などを図るとのことであったが、農業分野において、担い手不足、耕作放棄地の増加等課題が山積している状況の中、まさに新しい形の農業だと感じた。1次産業である農業も、IoT、ビッグデータ、AI等を活用した4次産業と、生産から販売までつなげる6次産業を織り交ぜながら営農することで若い世代も農業分野に参入しやすくなれば、稼げる農業の構築となり、現在の課題解決にも繋がる施策だと感じた。





根津記念館



山梨市役所
農林課 農林担当

主幹 **根津 道仁**
Nezu Michihito

〒405-8501 山梨県山梨市小原西 843
TEL 0553 (22) 1111(代) 内線 2212
FAX 0553 (23) 2800
<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/>



日川地区 大川倉横結操法



山梨市役所
農林課 農地担当
農業委員会事務局

副主幹 **芦沢 義仁**
Ashizawa Yoshihito

〒405-8501 山梨県山梨市小原西 843
TEL 0553 (22) 1111(代) 内線 2215
FAX 0553 (23) 2800
<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/>



原作者 山梨市観光大使 吉沢 やすみ



山梨市役所
まちづくり政策課
政策調整担当

副主査 **小林 弘**
Kobayashi Hiroshi

〒405-8501 山梨県山梨市小原西 843
TEL 0553 (22) 1111(代) 内線 2453
FAX 0553 (23) 2800
<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/>



関東の富士見百景 笛吹川フルーツ公園



山梨市議会事務局
議事担当

副主幹 **小泉 健一**
Koizumi Kenichi

〒405-8501 山梨県山梨市小原西 843
TEL 0553 (22) 1111(代) 内線 1212
ダイヤル外 0553 (22) 3112
FAX 0553 (22) 1115
<http://www.city.yamanashi.yamanashi.jp/>

農業へのIoT技術の導入について ～アグリイノベーションLab構想～

平成29年10月2日(火)
山梨市まちづくり政策課

【国におけるIoT分野の動向等】

○IoTの推進

IoT、ビッグデータ、AI等は、地域の住民・行政・企業のデータ利活用による住民サービスの充実、地域における新たなビジネス・雇用の創出等のメリットを実現し地域の課題解決を図るための効率的・効果的なツールとして強く期待されている。

総務省：「地域IoT実装推進ロードマップ」、「地域官民IoTネット」

経済産業省：「地方版IoT推進ラボ」等

【山梨市の施策における農業及びIoTの位置づけ】

○計画における位置づけ

・「第2次山梨市まちづくり総合計画」

1 四季折々の色あいを大切に、にぎわいのある山梨市

(1) 稼ぐ農業へ挑戦するまち

(3) 都市と自然の交流のまち

4 機能性が高く、落ち着いた住環境の山梨市

(1) 自然と農のある暮らしを提供できるまち

・「総合戦略」における位置づけ

戦略1 山梨市における安定した雇用を創出する

施策1 農業関係のしごとを増やす

○山梨市農業分野における課題点

- ・ 就農者の高齢化により持続的な営農が困難。
- ・ 農家の経験に基づく栽培となっており、就農支援などの方法が限定的
- ・ 後継者や新規就農者への栽培技術の継承が困難。
- ・ 収入の確保が困難 等

耕作放棄地は
いかに増やせるか？
何があるか？

【アグリイノベーションLab構想】 資料2

○経緯

平成28年度中に関係企業から提案のあった「IoTトライアル(検証実験)」

目的

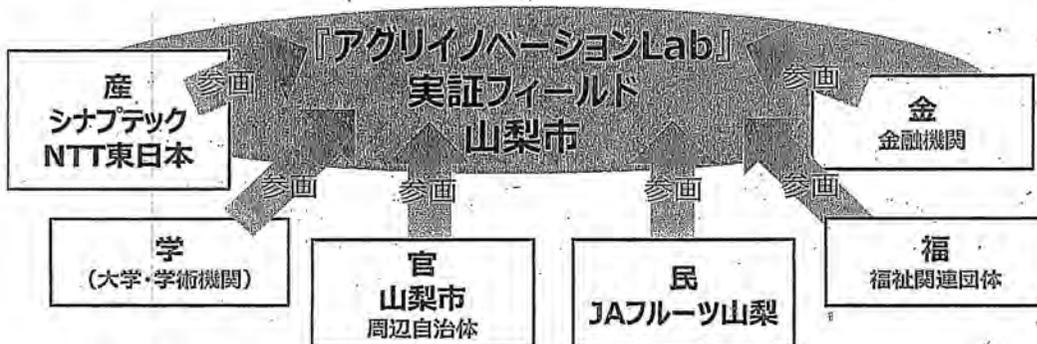
豊かな自然、観光資源に恵まれ、国内有数の果樹産地である地域特性や、都心部からも比較的近いという地の利を活かし、農業分野におけるリーディングシティとして先進的なIoT※①やBio技術等の成長分野に積極的に取り組む姿勢を内外に示すことで、多様な担い手が参画する仕掛けを創出し、「持続可能な社会づくり」※②や、それを担う「稼げる農業」の実現に向けた基盤を形成する。

※①Internet of Things：様々なモノやコトがインターネットと繋がること
 ※②国連にて採択した“持続可能な開発目標”（SDGs）と照らし合わせて検討

概要

- 山梨市域をアグリノベーション※③に資する「Lab」（試験圃場）と位置づけ、実証実験及びビジネス検証フィールドとして提供する。
- マルチステークホルダーによるコンソーシアム※④を形成し、目的達成に必要な資源や情報を集約し、各プロジェクトを立上げる。
- 実証実験により取得された成果やデータを、山梨市のブランディングや農業の6次化含め、他の産業及び担い手向けの教育の材料として活用する等、様々な波及効果を狙う。
- 結果を集積し、持続可能な農業や地域の形成、および山梨市発の新たな価値やビジネス等の創出へと導き、目的達成を目指す。

※③農業分野における技術革新 ※④多様な担い手による協働体



※団体、企業等の固有名は、発表時点の参画メンバー。

フェーズ1

- 山梨市、JAフルーツ山梨、シナプテック、NTT東日本山梨支店の4者にてプロジェクト発足
- 参画プレイヤーがリソース・ノウハウを持ち寄り、地域と協力し、第一弾のプロジェクトとして、手軽な農業IoTのトライアル、スタディ並びにBio分野における最新の成長促進剤等の導入に向けたヒアリング等を行う（市内10件程度の農家、観光農園等とトライアル）
- トライアルを通じ、農業、地域発展におけるIoT及びBio技術の可能性や課題を身近に知ってもらい、取り組みのドライブをかける

フェーズ2

- 農業IoTのトライアルを通じて得られた課題や必要な役割分担を踏まえ、山梨市行政との連携を強化し、規模の拡大やビジネス化を検討（「分野・パートナー」「エリア」「サポート」「技術」の拡大等）
- データを、地域ブランディングや6次産業化に活用する成功事例を創出。
- Bio分野において実地試験。研究機関等との連携を強化する。

目指す姿

- 現在の就農者や、将来の就農者（Uターン、Iターン）に優しい地域のショーケースを目指す。
- 関連プレイヤーが集まるラボとすることで、持続的にプロジェクトが発展することを旨とし、次代の担い手たちとの知の共有及び深化を行う。（運営団体の設立、教育機関等との連携・協働）
- ブランディング向上による地域競争力の強化、6次産業育成
- 新規ビジネスの創出（Mt.Fujiイノベーションエンジン※⑤との協働）

※⑤起業創業支援団体 <http://www.sterra.jp/about.html>



定住人口/交流人口の増加・農業収入の拡大等

東京都 町田市

20年間期間限定認可保育事業について

町田市では、将来的に人口が減少していくだろうと予想される中、2008年当時200名を超える待機児童を速やかに解消する方法が必要であった。待機児童の解消に向け、まず認可保育所を整備していくことを基本に取り組むこととし、町田市独自の方針を立てることになった。

そこで、2008年時点での推計人口によると20年後の年少人口割合は10%であることから、20年に期間限定をした保育所を創設することとなった。

民間所有の土地、建物を利用することで、土地所有者にメリットのある制度設定をし、単年度で保育所を建設できるようにして保育所整備の加速化を図った。

20年間期間限定保育所は「新築型」と「改修型」の大きく二つに分類される。

新築型は、総定員を100人程度に想定し、土地所有者が保育所の建物を建設し、町田市で最大3000万円の建築費を補助し、土地建物を運営法人となる社会福祉法人等に賃貸し、運営法人が認可保育所を開設・運営を行う。更に市から運営法人に土地建物賃借料補助として、最大1200万円（土地600万、建物600万）を20年間補助するものである。

改修型は総定員を60人程度に想定し、社旗福祉法人等が空き店舗や空き事務所等の既存建物を賃借し、保育所スペースに改修。市は改修費用の一部または全部を最大2187万5千円（2500万円の8分の7）運営法人に補助し、更に建物賃借料補助として最大年間600万円を20年間補助するものである。

運営法人にはできた建物を賃借するため、初期投資が最小限で済むことや、20年後に保育需要が減少しても、運営法人の資産でないため撤退が容易であるなどのメリットがあり、物件・土地の所有者には安定した法人に20年間継続して賃借でき、安定した収入が見込めることや20年後に新たな資産運用を行うことが可能であるなど、双方にメリットがある一方、地価が高い地域の土地所有者の応募は少なく、郊外に応募があっても交通事情などから応募児童が見込みにくいなどの課題もある。

本市においては、施設が郊外であっても、交通手段のほとんどが自家用車であり、公共交通頼みの町田市より採用のメリットは非常に大きいと思える。

一般財源での負担が大きくなるため、即時対応とはいかないかもしれないが、大いに参考にすべきである。



町田市議会副議長

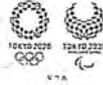
殿
村 健 一

議会〒一九四一八五二〇
東京都町田市森野二一二二二



町田市

子ども生活部 子育て推進課
課長



鈴木 亘

〒194-8520 東京都町田市森野2-2-22 2階
TEL:042-724-4468 FAX:050-3101-9459



町田市

子ども生活部
子育て推進課整備係



係長 保科 明雄

〒194-8520 東京都町田市森野 2-2-22 2 階
TEL:042-724-4467 FAX:050-3101-9459
E-MAIL:kodomo040_03@city.machida.tokyo.jp

20年間期間限定認可保育所事業

東京都町田市

2017年度整備
20年間期間限定認可保育所
(新築型)

募集要項

町田市 子ども生活部 子育て推進課

2016年 10月18日(火)

会派名 志翔会

支出調書

| | | |
|-----|-------|-----|
| 代表者 | 経理責任者 | 起案者 |
| | | 共通 |

| 区分 | 事由 | 費目 | | 金額 | 小計 |
|-----|-------------|-------------------|---------------|-------------------|--------|
| 1 | 調査研究費 | 行政調査(熱海市、可児市) 交通費 | 旅費 | 66,330 | 66,330 |
| | | 旅費 | 調査委託費 | 66,330 | |
| 2 | 研修費 | 資料作成費 | 会場費 | | |
| | | 会場費 | 講師謝金 | | |
| | | 交通費 | 旅費 | | |
| 3 | 広報費 | 資料作成費 | 交通費 | | |
| | | 会場費 | 広報誌(紙) | | |
| | | 送料(折込料含む) | ウェブページ掲載代 | | |
| | | 振込料 | | | |
| 4 | 広聴費 | 会場費 | 交通費 | | |
| | | 資料作成費 | 茶菓子代 | | |
| 5 | 要請・陳情活動費 | 交通費 | 旅費 | | |
| | | 資料作成費 | 振込料 | | |
| 6 | 会議費 | 会場費 | 交通費 | | |
| | | 資料作成費 | 振込料 | | |
| 7 | 資料作成費 | 印刷製本費 | 翻訳料 | | |
| | | 振込料 | | | |
| 8 | 資料購入費 | 法規追録代 | 参考図書代 | | |
| | | 有料データベース等利用料 | 振込料 | | |
| 9 | 人件費 | 賃金 | 社会保険料等 | | |
| 10 | 事務所費 | 備品購入費 | 事務機器等リース代 | | |
| | | 印刷代 | 振込料 | | |
| 11 | 通信運搬・自動車燃料費 | 電話料等(按分) | 郵便料等 | | |
| | | その他 | | | |
| 使用者 | 共通 | 支出年月日 | 現金出納簿 支出番号 | 28 | 合計 |

66,330

~~66,330~~

円

出張（調査等）申請書兼旅費請求書

支出番号 28

会派会長様

申請代表者氏名 森合秀行 

下記の用務により出張（調査等）したいので申請するとともに、旅費を請求いたします。

記

| | | |
|------------|---|-------|
| 請求金額 | 663,300 円 (1人あたり 73,700 円) ※別紙、旅費計算書のとおり | |
| 目的 | 行政調査 | |
| 用務先 | 熱海市、可児市 | |
| 内容 | 熱海市：リノベーションまちづくりについて 可児市：議会改革について | |
| 期間 | 平成29年10月16日～平成29年10月17日（泊2日） | |
| 行程 | 別紙の通り | |
| 出張（調査等）者氏名 | ・高橋隆夫 | ・久野三男 |
| | ・近内利男 | ・塩田義智 |
| | ・川前光徳 | ・佐藤徹哉 |
| | ・山口信雄 | ・佐藤栄作 |
| | ・森合秀行 | ・ |
| | ・ | ・ |
| 特記事項 | なし | |

上記のとおり出張（調査等）を許可します。

| | | | |
|---|---|-----|----------|
| 会派会長 | 経理責任者 | 受理日 | 29年9月27日 |
|  |  | 許可日 | 29年9月27日 |
| | | 支出日 | 29年9月27日 |

上記金額を受領しました。

平成29年9月27日

申請代表者氏名 森合秀行 

行政調査旅費計算書

会派名：志翔会

参加議員：高橋隆夫、久野三男、近内利男、塩田義智、川前光徳、佐藤徹哉、山口信雄、
佐藤栄作、森合秀行

日程：平成29年10月16日(月) - 10月17日(火)

行先：熱海市役所(静岡県熱海市中央町1番1号)
可児市役所(岐阜県可児市広見一丁目1番)

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|-----------------------|-------|----------------------|-------|----------------------|-----|--------------------|-----|---------------|----|-------|--|--|-------|
| 10月16日 | 郡山 | やまびこ 128号 226.7 | 東京 | こだま 649号 104.6 | 熱海 | こだま 649号 261.4 | 名古屋 | JR中央 本線 36.2 | 多治見 | JR太多線 12.8 | 可児 | | | | |
| 運賃 | 9,610 | | | | | | | | | | | 9,610 | | | |
| 急行料金 | 3,680 | | 1,730 | | 3,340 | | | | | | | | | | 8,750 |
| グリーン | 3,090 | | 2,750 | | 4,110 | | | | | | | | | | 9,950 |
| 実費 | | | | | | | | | | | | 0 | | | |

| | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|-------|---------------|-----|--------------------|-------|----------------------|-------|-----------------------|----|--|--|-------|--|--|-------|
| 10月17日 | 可児 | JR太多線 12.8 | 多治見 | JR中央 本線 36.2 | 名古屋 | ひかり 522号 366.0 | 東京 | やまびこ 147号 226.7 | 郡山 | | | | | | |
| 運賃 | 9,610 | | | | | | | | | | | 9,610 | | | |
| 急行料金 | | | | | 4,100 | | 3,680 | | | | | | | | 7,780 |
| グリーン | | | | | 4,110 | | 3,090 | | | | | | | | 7,200 |
| 実費 | | | | | | | | | | | | 0 | | | |

| | | | |
|-----|----------|------|----------|
| 交通費 | 52,900 | | 52,900 |
| 日当 | 3,000 × | 2日 = | 6,000 |
| 宿泊費 | 14,800 × | 1泊 = | 14,800 |
| 合計 | | | 73,700 円 |

× 9名 = 663,300 円

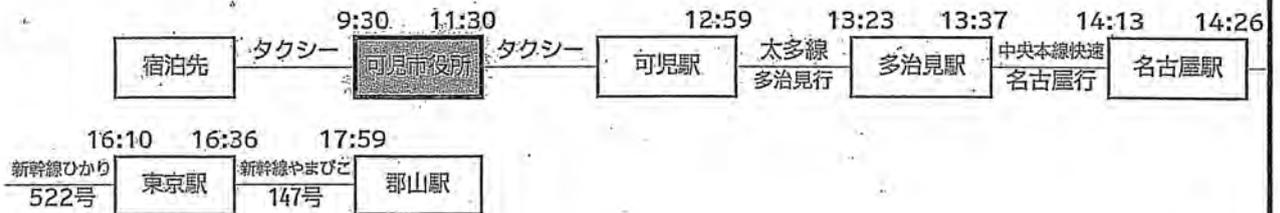
平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

□ 1日目：平成29年10月16日（月） **熱海市：リノベーションまちづくりについて**



□ 2日目：平成29年10月17日（火） **可児市：議会改革について**



2 調査者 9名

高橋 隆夫 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 塩田 義智 議員
 川前 光徳 議員
 佐藤 徹哉 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

3 調査項目

- (1) 平成29年10月16日（月） 13:00~14:30
 熱海市役所
 ・リノベーションまちづくりについて
- (2) 平成29年10月17日（火） 9:30~11:30
 可児市役所
 ・議会改革について

4 連絡先

- 熱海市会事務局（担当：松井様）
 〒413-8550 静岡県熱海市中央町1番1号
 TEL 0557-86-6644
- 可児市議会事務局（担当：林様）
 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番
 TEL 0574-62-1111(代表)

5 その他

出張（調査等）報告書兼旅費精算書

支出番号 28

会派会長様

下記のとおり出張（調査等）したので報告するとともに、受領した旅費を精算（返納）いたします。

出張（調査等）議員名

| | | | |
|--------|---|--------|---|
| ・高橋 隆夫 |  | ・山口 信雄 |  |
| ・近内 利男 |  | ・佐藤 栄作 |  |
| ・久野 三男 |  | ・森合 秀行 |  |
| ・塩田 義智 |  | ・ |  |
| ・川前 光徳 |  | ・ |  |
| ・佐藤 徹哉 |  | ・ |  |

記

| | | | | | | |
|---------|--|-----------|-----|-----------|-----|-----|
| 期 間 | 29 年 10 月 16 日 ~ 29 年 10 月 17 日 (1泊2日) | | | | | |
| 目 的 | 行政調査 | | | | | |
| | | | | | | |
| 用 務 先 | 熱海市、可児市 | | | | | |
| | | | | | | |
| 行 程 | 別紙行程表のとおり | | | | | |
| 内容及び成果 | 熱海市…リノベーションのまちづくりについて | | | | | |
| | 可児市…議会改革について | | | | | |
| 旅 費 精 算 | 受領額 | 663,300 円 | 精算額 | 663,300 円 | 返納額 | 0 円 |
| | | | | | | |

上記のとおり出張（調査等）の内容を確認するとともに、精算を受けました。

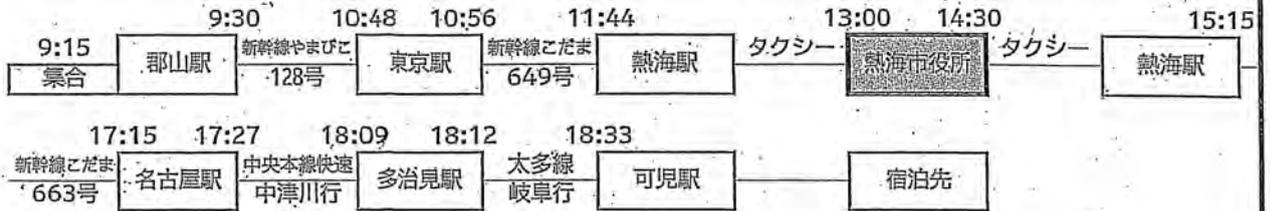
| | | | | |
|---|---|--|-------|------------------|
| 会派会長 | 経理責任者 | | 受 理 日 | H 29 年 10 月 18 日 |
|  |  | | 確 認 日 | H 29 年 10 月 18 日 |
| | | | 精 算 日 | H 29 年 10 月 18 日 |

※添付書類：行程表、調査等先説明資料、要請・陳情書（写）、調査等先の名刺、写真、成果報告書他

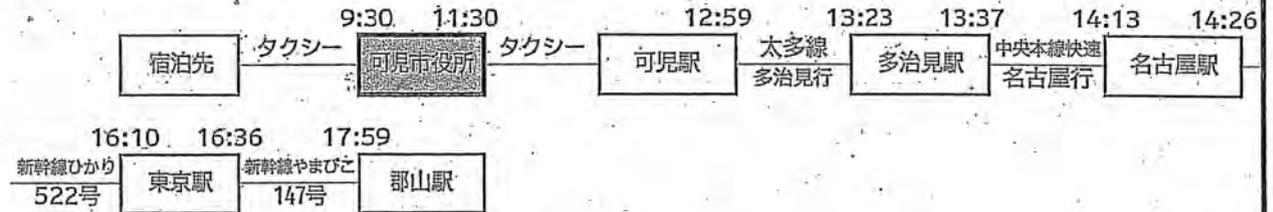
平成29年度 志翔会行政調査行程表

1 行程

□1日目：平成29年10月16日(月) **熱海市：リノベーションまちづくりについて**



□2日目：平成29年10月17日(火) **可児市：議会改革について**



2 調査者 9名

高橋 隆夫 議員
 久野 三男 議員
 近内 利男 議員
 塩田 義智 議員
 川前 光徳 議員
 佐藤 徹哉 議員
 山口 信雄 議員
 佐藤 栄作 議員
 森合 秀行 議員

3 調査項目

- (1) 平成29年10月16日(月) 13:00~14:30
 熱海市役所
 ・リノベーションまちづくりについて
- (2) 平成29年10月17日(火) 9:30~11:30
 可児市役所
 ・議会改革について

4 連絡先

- 熱海市会事務局 (担当：松井様)
 〒413-8550 静岡県熱海市中央町1番1号
 TEL 0557-86-6644
- 可児市議会事務局 (担当：林様)
 〒509-0292 岐阜県可児市広見一丁目1番
 TEL 0574-62-1111(代表)

5 その他

熱海市行政調査報告書

平成29年10月16日（月）訪問

「リノベーションのまちづくりについて」

熱海駅を降りて最初に感じたのは、月曜日にもかかわらず若者から年配者まで多くの観光客がおり、駅ナカも駅前のアーケード商店街も非常に活気に溢れていた事である。タクシーの運転手に聞いたところ、金曜日から月曜日までは人通りが多いが、火曜日から木曜日はそうではなく、夜7時前に閉める店も多いとの事だった。それから熱海市役所に向かい、約2時間の行政調査を行った。先ず最初に、熱海市議会議長の川口健様より歓迎の御挨拶を頂いた。川口議長は50歳と若く、役職は年齢とするものではないと感じた。本市の磐梯熱海温泉観光協会と熱海市観光協会は平成3年に友好親善盟約書を交わし、機会を設け交流を深めてきた。例えば先日の郡山産業博においても熱海市観光協会がブースを出展したり、伊豆で開催されるお祭りに郡山観光協会が参加したりと互いに行き来している。川口議長から「今回はプライベートでお越し下さい。」と言って頂いたので、機会があればゆっくり訪れてみたいと思った。

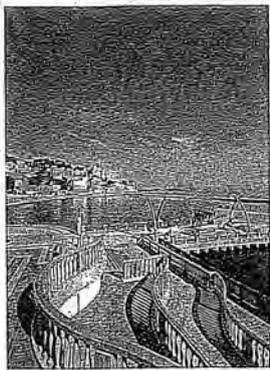
先ず、熱海温泉の歴史は、大正14年の国鉄熱海線の開通により東京方面から訪れる人が増え、旅館や別荘の数が急増した。昭和8年の丹那トンネル開通により、国鉄東海道本線が御殿場経由から熱海軽油となり、中京・関西方面との結びつきも強まった。これらにより観光地化、大衆化が進み、新婚旅行や団体旅行のメッカとなった。昭和39年の東海道新幹線開業が高度経済成長と重なり、観光客が大幅に増加し、ホテル・旅館の新築が進み鉄筋コンクリート高層建築が増えた。バブル期をピークにリゾートマンションの建設ラッシュとなったが、バブル経済崩壊と旅行形態が団体から個人や小グループ化と変化し、観光客が減少した。その結果、旅館・ホテルの休廃業が相次ぎ、放置されて廃墟となった建物が景観や防犯上問題となった。また、リゾートマンションや店舗の空きが目立つようになり、熱海という地域の価値がどんどん下がる結果となっている。これらの不動産オーナーは長期間未活用の物件を所有する事となり、活用方法も分からない状況で借りても見つからず悪循環に陥ってしまった。

そこで熱海市としてはこれらの危機感から、現実を直視し衰退してきた要因を考え、自分たちのまちの問題解決のために動き出した。1つ目はリノベーションスクールの取り組みで、平成25～26年に合計3回開催した。これは福岡から始まった活動で、日本各地から様々な職業や学生が集まり、不動産オーナーから検討物件の提供を受けてレクチャーアドバイザーの指導の下、1回あたり3～4日で対象物件をどのように再生活用するかを実践的に学び、最終プレゼンを行い実業化していくプログラムである。また同時に、熱海市の産業政策の課題として何をどのように重点的に支援するかや、商品・サービスの魅力向上、マーケティングの支援等が不十分であり、これらを支援するノウハウ蓄積が不足していることが掲げられた。そこで富士市の取り組みF-bizをモデルとして連携し平成24年にA-bizを職員5名体制で立ち上げた。事例として、老舗油点が石鹼の原料や化粧用として販売している

椿油の売り上げを増やすために、高級天ぷら専門店に天ぷら専用油として販売拡大を図り、実際に売り上げが4～5倍に増えたことが紹介された。これらの取り組みにより、平成24～26年の3年間に新設事業所は81と増加したが、廃業事業所も110とより増加したため、リノベーションまちづくりと融合した創業支援により地域を活性化することが必要とされた。

そこで平成27年に宅建協会や商工会議所、金融機関等が協力し、地域資源をより見直してヒト、モノ、コト、が動き出す仕掛けづくりのために①「熱海リノベーションまちづくり」②「地域ぐるみの創業支援」を2つの柱として動き出した。①については、不動産オーナー中心の委員構成によるATAMI2030会議の中で約1年かけて遊休不動産や農業をはじめとした産業の再発掘を行う事とし、行政は「熱海リノベーションまちづくり構想」をまとめ、まちを変える方向性を示すこととした。その上で具体的な民間プロジェクトを組成し活動を開始した。

ATAMI2030会議には地元内外の人々約130名が参加し、約25件のプロジェクトがスタートした。この中の主なものとして働く独身女性のための住まいを提供するシェアハウス事業と、地域の人々に開かれた料理教室や交流会、撮影ロケ等に利用できるシェアキッチン事業の両方を行うものがありこの為に、築63年の3階建てのビルをリノベーションして事業活動の拠点として利用を開始した。②についてはA-bizを中心として関係機関の連携による創業支援体制を構築し、市の中心部にある築60年のビルをリノベーションした「naedoco」内にその拠点を設け、行政職員が常駐し各種相談を行い地域のつなぎ役となっている。そして平成28年10月より創業に繋げる支援プログラム「99℃」がスタートした。この中では子育て就労支援事業や、地元の薪、チップを熱エネルギーの地産地消としていくプロジェクト、熱海の空き家群を一括管理し、エリアの価値を高めるプロジェクト等様々な事業が始まった。これら全て2030年を目途に現在の熱海市にある空き家、空きビル、公共空間や温泉、山、畑、海、人を含めた豊富な地域資源を活用し、新しい仕事や住まい、食べ物等を活性化させて「昼も夜も楽しい熱海のまち」をコンセプトににぎわいのあるまちに変えるために全市で取り組んでいるところである。郡山市も同様に地域資源を活かすきれいな悩みを抱えており、様々な角度から本気で取り組んでいる熱海市の姿に、我々ももっと危機感を持って今回の視察を活かしながら取り組む必要があると感じた。



龍水公園

全国温泉所在都市議会議長協議会会長

熱海市議会

議長

川 口 健

〒413-8550

熱海市中央町1番1号

TEL (0557) 82-7287

FAX (0557) 82-7287

URL <http://www.city.atami.shizuoka.jp/>



起瀧閣

熱海市議会事務局

総務室長

鈴 木 肇

〒413-8550

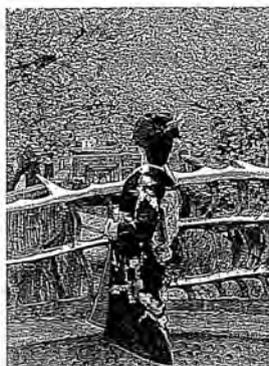
静岡県熱海市中央町1番1号

TEL (0557) 86-6641

FAX (0557) 82-7287

E-mail: gikai@city.atami.shizuoka.jp

URL <http://www.city.atami.shizuoka.jp/>



面たみ根と雲城

熱海市役所

議会事務局総務室 主幹

大 石 真 裕

〒413-8550

静岡県熱海市中央町1番1号

TEL (0557) 86-6643

FAX (0557) 82-7287

E-mail: gikai@city.atami.shizuoka.jp

URL <http://www.city.atami.shizuoka.jp/>



熱海市役所 www.city.atami.lg.jp

観光建設部
観光経済課 産業振興室

室 長 長谷川 智 志

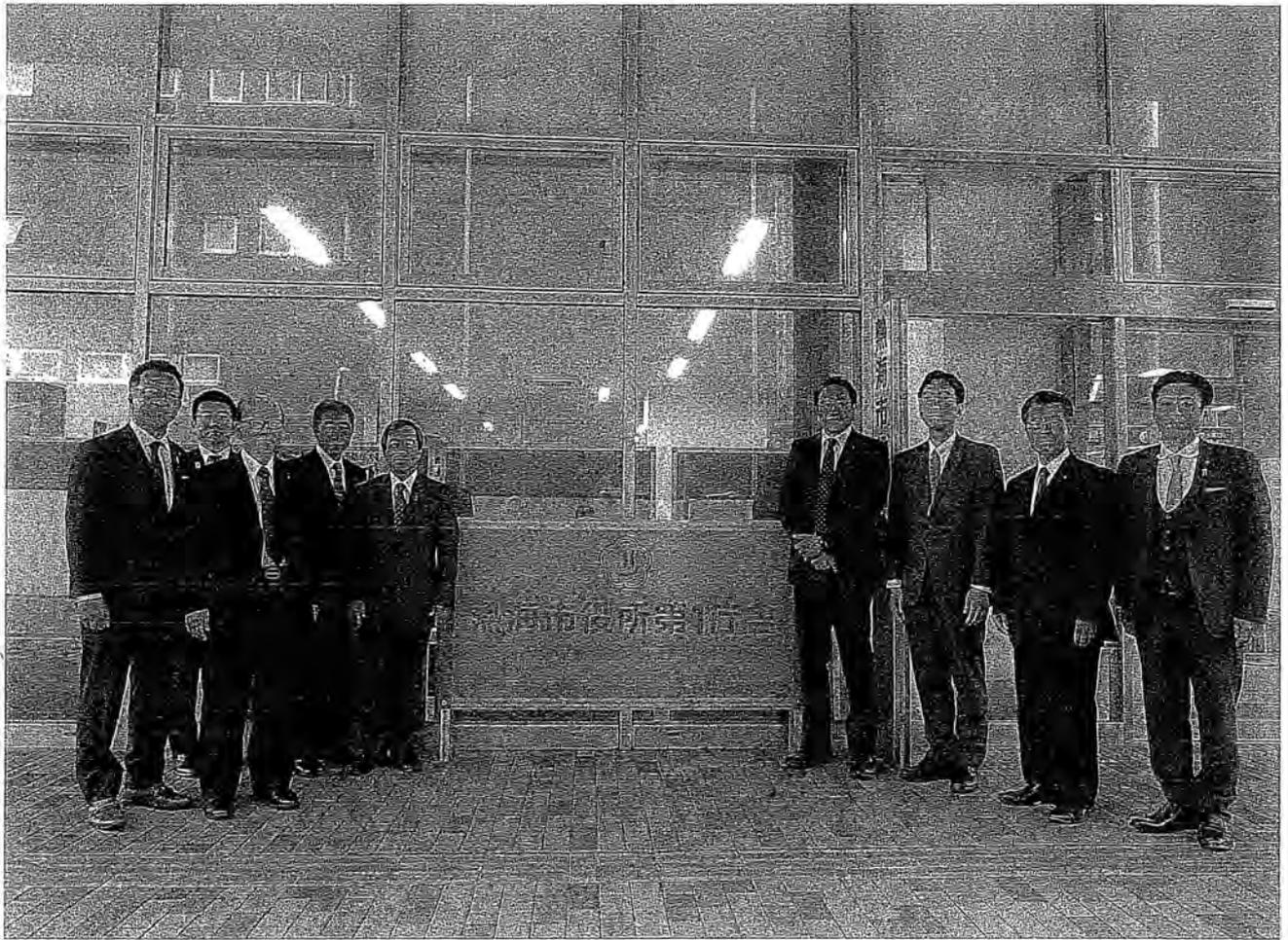
✉ sangyoshinko@city.atami.shizuoka.jp



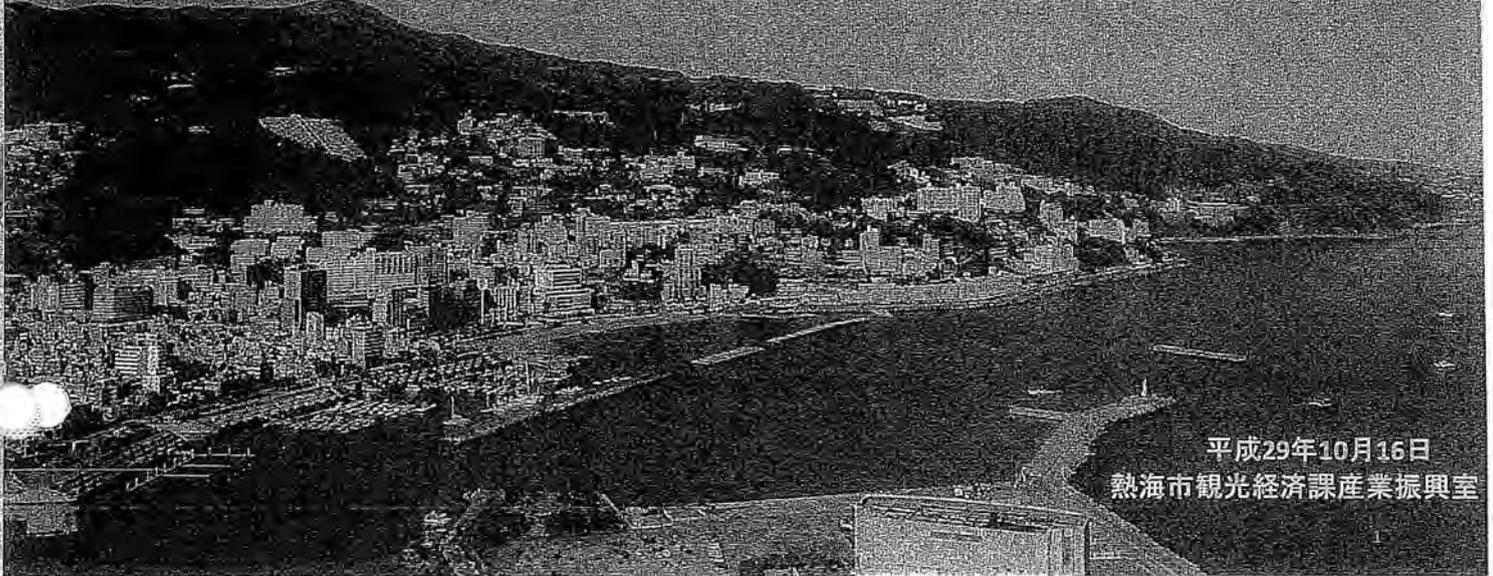
A-biz

〒413-8550 静岡県熱海市中央町1番1号

Tel.0557-86-6203 Fax.0557-86-6199



リノベーションまちづくりと融合した 創業支援による地域活性化



平成29年10月16日
熱海市観光経済課産業振興室

リノベーションまちづくり

1. リノベーションまちづくりとは、今あるものを活かし、新しい使い方をしてまちを変えること
2. 民間主導でプロジェクトを興し、行政がこれを支援する形で行う“民間主導の公民連携”が基本
3. 遊休化した不動産という空間資源と潜在的な地域資源を活用して、民間自立型プロジェクトを興して地域を活性化する
そして、都市・地域経営課題を複合的に解決する
4. 補助金に出来る限り頼らない

熱海市の概要

1. 沿革

(江戸時代)

- ・多くの大名が湯治に訪れ湯治場として発展
- ・江戸幕府初代将軍 徳川家康が熱海を湯治で訪れて以来、徳川家へ将軍御用の「御汲湯(おくみゆ)」として湯桶に入れた温泉を江戸城へ献上



御汲湯想像図(熱海の史蹟伝説より)

志翔会行政調査報告書
岐阜県可児市 議会改革について

平成 29 年 10 月 17 日

岐阜県可児市役所にて、志翔会行政調査が行われた。まず冒頭に可児市議会議長の川上文浩氏が公務のため、副議長の勝野正規氏より歓迎のあいさつがあった。次に志翔会副会長の近内利男議員のあいさつの後、可児市議会の議会改革について、可児市議会の田原氏、高木氏、天羽氏の 3 名議員よりパワーポイントを使って説明を受けた。

可児市議会では、議会改革を行うにあたって、市民アンケートを実施した。アンケートの結果は、市議会や市議会議員に対する市民の関心度の低さであった。そこからいかに市民にとって身近にある議会のために必要な改革という視点で改革をスタートさせた。改革の内容をまとめると以下ようになる。

(1) 議会機能の強化

① 定例会

一括質疑方式 or 一問一答方式の選択を可能にする
答弁も含めた制限時間を設定

② 議場の ICT 化の推進

議案書などのペーパーレス化、議場でのタブレット・PC 等の使用可
議場のモニターを使ってパワーポイント・写真等を使用

③ 常任委員会

2 年間の審議で生じた課題・懸案等引継ぎ事項を作る
課題解決のために必要な事案については、定例会での委員長の代表質問を認める

④ 決算特別委員会

決算審議での指摘・改善事項に対して、当局側が翌年度の予算策定の際にどれくらい内容を反映したのかきちんとわかるようにする

⑤ 議員間討論の充実・・・本会議・常任委員会において

(2) 議会運営サイクル・予算決算審査サイクル・政策サイクル・民意を反映するタイムラインの確立

① 政策実現のための定例会・常任委員会・決算特別委員会・住民との意見交換等との相互連携

② 議長・副議長のあり方・・・立候補制の導入、在任中のマニフェストを示す、任期の見直し、次期への引継ぎ

③ 議員の政策提言の強化

(3) 情報公開

① 常任委員会の中継・ウェブでの公開

② 議会の情報発信力の強化・・・議会だよりの見直し、ラジオの活用、SNS の活用、グーグルカレンダーでの活動日程の公開

(4) 住民参加

① 議会交流会（議会交流会）の開催・・・地区別・世代別・テーマ別など様々視点から超党派で開催

② 高校生へのアプローチ・・・出前選挙講座、議会交流会、職業体験のマッチング等

以上のような改革をスピード感をもって実施した。本市でも中核市をリードするような議会改革を実施すべきであることを強く感じた非常に有意義な調査であった。

可児市議会議員

勝野 まさき



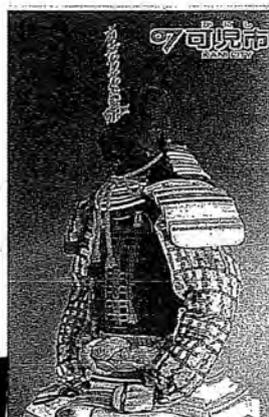
地域重視!

森蘭丸生誕地

可児市議会議員
建設市民委員長

高木 将延

Masanobu Takagi



可児市議会議員

田原 理香

Tabara Rika



可児市

市議会議員

あもう よしあき

天羽 良明





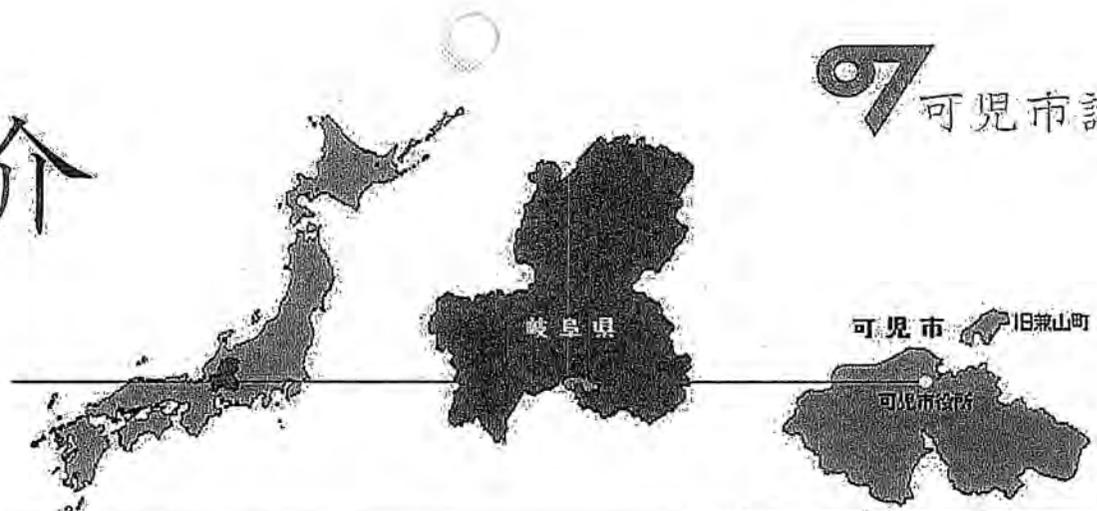
人口減少による労働力の圧倒的な不足

日本の明るい豊かな未来を創ることが出来なかった

| | |
|-------------|-------------|
| 使用済み核燃料棒 | 19,000本 |
| 消滅可能性都市 | 896自治体 |
| 福島第一原発廃炉 | 13兆円 40年 |
| 2050年の日本の人口 | 9,708万人 |
| 国の借金 | 1053兆3572億円 |
| 国民1人当たりでは | 829万円 |

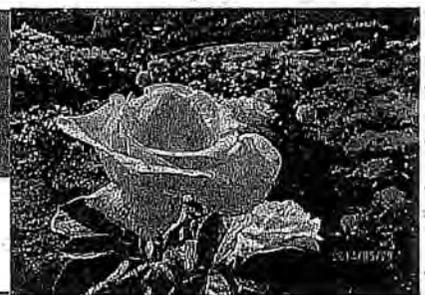
かに 可児市の紹介

人口 101,297人
世帯 41,085世帯
平成29年4月1日現在



世界一のバラ園

花フェスタ記念公園



美濃桃山陶の聖地

信長・秀吉時代の茶の湯文化を牽引



森蘭丸の所縁の地

森蘭丸の甲冑・国史跡美濃金山城跡



会派名 志翔会 支出調書

| | | |
|-----|-------|-----|
| 代表者 | 経理責任者 | 起案者 |
| | | 共通 |

| 区分 | 事由 | 費目金額 | | | | 小計 | |
|-----|--------------------------|--------------|------------|---------------|--------|------------|----------|
| 1 | 調査研究費 | 交通費 | | 旅費 | | 自動車燃料費 | |
| | | 資料作成費 | | 調査委託費 | | 振込料 | |
| 2 | 研修費 志翔会議会報告会の講師謝金、食糧費 | 会場費 | | 講師謝金 | 63,240 | 出席者負担金・会費 | |
| | | 交通費 | | 旅費 | | 自動車燃料費 | |
| | | 資料作成費 | | 食糧費 | 216 | 振込料 | |
| 3 | 広報費 志翔会議会報告会の会場費及び看板代 | 会場費 | 30,740 | 交通費 | | 自動車燃料費 | |
| | | 資料作成費 | | 広報誌(紙) | | 報告書等印刷費 | |
| | | 送料(折込料含む) | | ウェブページ掲載代 | | 茶菓子代 | |
| | | 振込料 | | | | | |
| 4 | 広聴費 | 会場費 | | 交通費 | | 自動車燃料費 | |
| | | 資料作成費 | | 茶菓子代 | | 振込料 | |
| 5 | 要請・陳情活動費 | 交通費 | | 旅費 | | 自動車燃料費 | |
| | | 資料作成費 | | 振込料 | | | |
| 6 | 会議費 | 会場費 | | 交通費 | | 自動車燃料費 | |
| | | 資料作成費 | | 振込料 | | | |
| 7 | 資料作成費 | 印刷製本費 | | 翻訳料 | | 筆耕料 | |
| | | 振込料 | | | | | |
| 8 | 資料購入費 | 法規追録代 | | 参考図書代 | | 新聞雑誌等購読料 | |
| | | 有料データベース等利用料 | | 振込料 | | | |
| 9 | 人件費 | 賃金 | | 社会保険料等 | | 振込料 | |
| 10 | 事務所費 ボールペン等消耗品 | 備品購入費 | | 事務機器等リース代 | | 消耗品等事務費 | 1,620 |
| | | 印刷代 | | 振込料 | | 配送手数料 | |
| 11 | 通信運搬・自動車燃料費 郵便料金 | 電話料等(按分) | | 郵便料等 | 392 | 自動車燃料費(按分) | |
| | | その他 | | | | | 392 |
| 使用者 | 共通 | ⓐ 支出年月日 | 平成29年10月2日 | 現金出納簿 支出番号 | 29 | 合計 | 96,208 円 |

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

| 区 分 | | | | ※該当する区分に○印 | 費 目 名 |
|----------------|---|---------|----------|------------|----------------------|
| 1 調査研究費 | <input checked="" type="checkbox"/> 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 | | 講師謝金 ※該当する支出費目を記入 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 | | |
| 10 事務所費 | 11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等） | | | | |
| 支出目的 （支出事由） | 講師謝金 | | | | |
| 内 容 | 志翔会議会報告会講師謝金 謝金 | | | | |
| 支出年月日 | 支 出 先 | | 支 出 金 額 | | |
| 平成29年9月 2日 | 齋藤武夫 | | 60,000 円 | | |
| 上記のとおり支出します。 | | | | | |
| 議員氏名 共通 印 | | | | | |

| 領収書 | | 番号 0001 |
|--------------------------------|--------------|-----------------------------------|
| 支払先： 齋藤 武夫 様 住所： ██████████ | | 支払元： 郡山市議会 志翔会 住所： 郡山市朝日1-23-7 |
| 日付 | 内容 | 金額 |
| 平成29年9月2日 | 志翔会議会報告会講師謝礼 | 60,000 |
| | 小計 | 60,000 |
| | 税 | 税込 |
| | 合計 | 60,000 |

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

| 区 分 | | | | ※該当する区分に○印 | 費 目 名 |
|----------------|------------------------------------|---------|---------|------------|---------------------------------------|
| 1 調査研究費 | 2 研 修 費 | 3 広 報 費 | 4 広 聴 費 | | 講師謝金 ※該当する支出費目を記入 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会 議 費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 | | |
| 10 事務所費 | 11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等） | | | | |
| 支出目的 (支出事由) | 講師謝金 手土産代 | | | | |
| 内 容 | 志翔会議会報告会講師謝金 手土産代 講演 | | | | |
| 支出年月日 | 支 出 先 | | 支 出 金 額 | | |
| 平成29年9月 2日 | (株)三万石 | | 3,240 円 | | |
| 上記のとおり支出します。 | | | | | |
| | | | | 議員氏名 | 共通 ⑩ |

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

2017年 9月 2日(土)

領 収 証

志翔会 様

¥3,240-

上記正に領収しました
但し、菓子代・商品券・飲食代・発送代 として

福島県郡山市開成1-3-8
株式会社 三万石 開成山店 Tel (024) 923-7777
※保管上のお願い
財布等で保管戴く場合、印刷面を内側に折って保管願います。

担当者
三万石 
3061-8567-0732

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
 ※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

| 区 分 | | | | ※該当する区分に○印 | 費 目 名 |
|----------------|----------------------|---------|---------|------------|---------------------|
| 1 調査研究費 | ② 研 修 費 | 3 広 報 費 | 4 広 聴 費 | | 食糧費 ※該当する支出費目を記入 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会 議 費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 | | |
| 10 事務所費 | 11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等） | | | | |
| 支出目的 （支出事由） | 講師用ミネラルウォーター | | | | |
| 内 容 | 志翔会議会報告会講師用ミネラルウォーター | | | | |
| 支出年月日 | 支 出 先 | | 支 出 金 額 | | |
| 平成29年9月 2日 | DAISO | | 216 円 | | |
| 上記のとおり支出します。 | | | | | |
| 議員氏名 共通 ㊟ | | | | | |

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



柳井トク郡山あさか店
TEL:024-937-0838
レジ:001 担:003

志翔会 領 収 証

2017年09月02日 12:31
いろはす555ml
0108 × 2 ¥216
計 2点
合 計 ¥216
(内消費税等 8% ¥16)
現金 ¥216
お預り ¥516
お釣り ¥300

返品・交換は、1週間以内に
レシートと商品をご持参下さい。
但し食品・印鑑・開封済・使用済
は対応致しかねます。



※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。
※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

| 区 分 | | | | ※該当する区分に○印 | 費 目 名 |
|--|--|---------|---------|------------|---------------------|
| 1 調査研究費 | 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 | | 会場費 ※該当する支出費目を記入 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 | | |
| 10 事務所費 | 11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等） | | | | |
| 支出目的 (支出事由) | 志翔会議会報告会の看板代 | | | | |
| 内 容 | 看板製作代 | | | | |
| 支出年月日 | 支 出 先 | | | 支 出 金 額 | |
| 平成29年9月 2日 | 安部  | | | 20,000 円 | |
| 上記のとおり支出します。 | | | | | |
| 議員氏名 共通 (印) | | | | | |

| 領収書 | | 番号 0002 |
|--|---------------|-----------------------------------|
| 支払先： 安部  様 住所： 郡山市  | | 支払元： 郡山市議会 志翔会 住所： 郡山市朝日1-23-7 |
| 日付 | 内容 | 金額 |
| 平成29年9月2日 | 志翔会議会報告会看板製作代 | 20,000 |
| | 小計 | 20,000 |
| | 税 | 税込 |
| | 合計 | 20,000 |

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

| 区 分 | | | | ※該当する区分に○印 | 費 目 名 | |
|------------------------------|----------------------|---|----------|------------|---------------------|---|
| 1 調査研究費 | 2 研修費 | <input checked="" type="checkbox"/> 3 広報費 | 4 広聴費 | | 会場費 ※該当する支出費目を記入 | |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 | | | |
| 10 事務所費 | 11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等） | | | | | |
| 支出目的 (支出事由) | 志翔会議会報告会の会場費 | | | | | |
| 内 容 | 郡山市総合福祉センター集会室使用料 | | | | | |
| 支出年月日 | 支 出 先 | | 支 出 金 額 | | | |
| 平成29年 <u>8</u> 月 <u>30</u> 日 | 社会福祉法人郡山市社会福祉事業団 | | 10,740 円 | | | |
| 上記のとおり支出します。 | | | | | | |
| | | | | 議員氏名 | 共通 | 印 |

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領 収 証 書

AN^o 023240

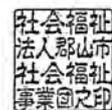
平成 29年 8月 30日

志翔会 様

| | | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|---|---|
| 金 額 | 4 7 | 1 | 0 | 7 | 4 | 0 | 円 |
| 内 容 | <input type="checkbox"/> 福祉センター <input type="checkbox"/> 母子・父子福祉センター <input checked="" type="checkbox"/> 老人福祉センター (中央・寿楽荘) <input type="checkbox"/> 障害者福祉センター <input type="checkbox"/> 逢瀬荘 <input type="checkbox"/> サニー・ランド湖南 <input type="checkbox"/> 地域交流センター (西田・三穂田・中田・喜久田・日和田) | | | | | | |
| <p><u>9/2 13~17時 5F 集会室 ¥9,240</u> <u>217 ¥1,000 10月27日 ¥500</u> 利用料金として</p> | | | | | | | |

上記のとおり領収しました。

郡山市指定管理者
社会福祉法人郡山市社会福祉事業団



取扱者

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

| 区 分 | | | | ※該当する区分に○印 | 費 目 名 | |
|----------------|----------------------|---------|---------|------------|-------------------------|---|
| 1 調査研究費 | 2 研修費 | 3 広報費 | 4 広聴費 | | 消耗品等事務費 ※該当する支出費目を記入 | |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会議費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 | | | |
| 10 事務所費 | 11 通信運搬・自動車燃料費（郵便料等） | | | | | |
| 支出目的 （支出事由） | 事務用品費 | | | | | |
| 内 容 | ボールペン、ホッチキス針、クリップボード | | | | | |
| 支出年月日 | 支 出 先 | | 支 出 金 額 | | | |
| 平成29年9月 2日 | DAISO | | 1,620円 | | | |
| 上記のとおり支出します。 | | | | | | |
| | | | | 議員氏名 | 共通 | ㊞ |

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄



羽仁町パーク郡山あさか店
TEL:024-937-0838
レジ:001 担:003

志翔会 領 収 証

2017年09月02日 12:30
ノック式ボールペン10本入り
0108 × 4 ￥432
事務用ボールペン10本入黒インク
0108 × 5 ￥540
ゲルインクペン 黒5本セット 0
0108 × 2 ￥216
カッター&ホッチキスの針 ￥108
B4 クリップボード黒 横
0108 × 3 ￥324
計 15点
合 計 ￥1,620
(内消費税等 8% ￥120)
現金 ￥1,620
お預り ￥10,120
お釣り ￥8,500

返品・交換は、1週間以内に
レシートと商品をご持参下さい。
但し食品・印鑑・開封済・使用済
は対応致しかねます。



※複数の領収書等を貼る場合は、重なる
※欄内に貼付できない場合は、別記第

こ貼付してください。

郡山市議会志翔会議会報告会 & 記念講演

第1回

「日本が好きになる！歴史授業」の考え方と講義

平成29年9月2日（土）15:00～17:00

※記念講演の開始時間は15:30です



入場
無料

●講師：齋藤 武夫 氏

（「授業づくり JAPAN の日本が好きになる！歴史全授業」著者）

●会場：郡山市総合福祉センター 5F 集会室

志翔会の第1回議会報告会と同時に齋藤先生の講演を行います。
お誘いあわせの上、是非ご出席くださいませ！

齋藤先生が書いた、小学校で歴史を教える先生の為の手引書がとても注目されています。この手引書を基にした授業を受けた小学生は、「日本人に生まれたことを誇りに思います」と卒業していくそうです。

自分らしく輝き、周りも輝かせていくためには、一人一人の人間としての自信が大切です。この個々の自信を考えた時、そのおおもとなる日本人である自分にまず自信と誇りをもつことが基礎になると感じます。

自信を取り戻すと同時に、これからの時代に必須の考える力を育む「日本が好きになる！歴史全授業」の考え方を知り、模擬授業を体験していただきます。本に書かれた内容はもちろんですが、講義の進め方も大変参考になります。

講師略歴：

昭和24(1949)年生まれ。1985年に大宮市立大成小学校に奉職。同期の先生方と大宮教育サークルを設立し授業実践研究を始めた。以後三橋小学校・春野小学校・島小学校・芝原小学校・津田学園小中学校を経て、浦和実業学園中学校(歴史講師)を2014年に退職。退職後、各地で「歴史授業講座」を開催している。『学校でまなびたい歴史』(産経新聞社)、『授業づくり JAPAN の日本が好きになる！歴史全授業』(私家版)、共著に『教科書が教えない歴史』(扶桑社)

郡山市議会志翔会議会報告会 & 記念講演 参加申込書



「日本が好きになる！歴史授業」の考え方と講義

平成 29 年 9 月 2 日 (土) 15:00～17:00

※ 記念講演の開始時間は 15:30 です



● 講師: 齋藤 武夫 氏

(「授業づくり JAPAN の日本が好きになる！歴史全授業」著者)

● 会場: 郡山市総合福祉センター 5F 集会室

下記の表に氏名と住所を記入の上、FAX かメールで、
または、志翔会所属議員にお申し込みください。

FAX 922-5265 メール mk@at-koriyama.jp

| | 氏名 | 住所 |
|---|----|----|
| 1 | | |
| 2 | | |
| 3 | | |
| 4 | | |
| 5 | | |

郡山市議会志翔会 第1回 議会報告会・記念講演

平成 29 年9月2日(土) 15 時～17 時

郡山市総合福祉センター5階 集会室

1 開会の言葉

2 会長あいさつ

3 郡山市議会志翔会について

4 志翔会所属議員紹介

5 議会報告

(1)平成 29 年6月定例会について

(2)平成 29 年9月定例会について

6 講演会

(1)講師紹介

(2)講演

齋藤武夫先生 『「日本が好きになる！歴史授業」の考え方と講義』

(3)質疑応答

7 閉会の言葉

※なお、本日会場施設の設備工事のため16時30分以降トイレが使用できませんので、ご承知おき下さい。

郡山市議会志翔会第1回議会報告会講演
「日本が好きになる！歴史授業」入門

平成27年9月2日(土) 15:30～17:00
郡山市総合福祉センター 5F 集会室

- 1 模擬授業：歴史入門「命のバトンと国づくりのバトン」
- 2 「日本が好きになる！歴史授業」の基礎基本
- 3 模擬授業：聖徳太子「遣隋使の国書」
- 4 昭和の戦争を見直す「東京裁判の真実」

斎藤武夫(さいとうたけお) 授業づくりJAPANさいたま代表・歴史教育研究

住所

電話

Mail

★ Facebook をやっています。よろしければつながってください。

支出明細書兼支出証明書

支出番号 29

| 区 分 | | | | ※該当する区分に○印 | 費 目 名 |
|----------------|----------------------------|---------|---------|------------|----------------------|
| 1 調査研究費 | 2 研 修 費 | 3 広 報 費 | 4 広 聴 費 | | 郵便料等 ※該当する支出費目を記入 |
| 5 要請・陳情活動費 | 6 会 議 費 | 7 資料作成費 | 8 資料購入費 | | |
| 10 事務所費 | 11 通信運搬・自動車燃料費(郵便料等) | | | | |
| 支出目的 (支出事由) | 郵便代 | | | | |
| 内 容 | 簡易書留郵便代 講師、新幹線急ぎ4ヶ所 郵送代 | | | | |
| 支出年月日 | 支 出 先 | | 支 出 金 額 | | |
| 平成29年8月 28日 | 日本郵便(株) | | 392 円 | | |
| 上記のとおり支出します。 | | | | | |
| 議員氏名 共通 (印) | | | | | |

領収書及び料金内訳明細書等貼付欄

領収書
毎度ありがとうございます
志翔会 様

「証紙切手引受」
第一種定形 17.0g 1通 ¥82
特殊取扱 (内訳) ¥310
簡易書留 ¥310
小 計 ¥392
郵便物引受合計通数 1通 ¥392
課税計費税等 (内消費税計) ¥29
非課税計 ¥0

合計 392
お預り金額 ¥1,002
おつり ¥610

印紙税申告納
付につき廻町
税務署承認済



〒100-8798 日本郵便株式会社
東京都千代田区豊か園1-3-2
取扱日時: 2017年 8月 28日 19:51
担当 発行No. I70828AUZ46 端NO0箱06
連絡先: 郡山郵便局
TEL: 024-932-1243

※複数の領収書等を貼る場合は、重ならないように貼付してください。

※欄内に貼付できない場合は、別記第11号様式「領収書等整理票」に貼付してください。